



外国文献紹介

反復性心膜炎の評価における心臓 MRI 検査の有用性

Imazio M et al : Usefulness of cardiac magnetic resonance for recurrent pericarditis.
Am J Cardiol 125 : 146-151, 2020

心臓 MRI 検査 (CMR) を行うことにより, 心膜の肥厚をとらえたり, 浮腫や炎症性変化, 線維化などをとらえたり, 心嚢液貯留の有無を調べ, 客観的に心膜炎を評価することができる。筆者らは, 臨床的に心膜炎と診断された 128 例に対して CMR を実施し, CMR 所見の心膜炎診断における正確さや ROC 曲線下面積などについて検討した。平均 34 カ月経過観察した結果, 52% の症例で心膜炎の再発がみられた。コックスモデルによる多変量解析を行った結果, CRP の上昇および心膜の肥厚から心膜炎の再発が予測可能と思われた。そして, CMR の所見は心膜炎再発に関して高リスクの患者を見つけるうえで有用と思われると述べている。

瀬戸一彦